

令和2年(2020年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2020年12月 数 (トン)	2020年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。中旬以降の低温干ばつの影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	508	62	92%	90%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。安定した天候により豊作となり、入荷量は増加しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	831	31	117%	49%
3		きゅうり	西南暖地中心に順調な生育となり、切れ間のない出荷が続き、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	262	352	122%	63%
4		ね ぎ	埼玉県産、東北産中心の入荷でした。東北産の積雪の影響と千葉県産の出荷遅れの影響から、入荷量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	215	385	84%	116%
5		馬鈴薯	北海道産中心の入荷でした。大玉傾向で順調な入荷により、入荷量は増加しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	367	143	111%	151%
6	果 実	みかん	早生種から普通種への品種間の切り替えが順調に進み、入荷量はかなり増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	1,495	264	144%	105%
7		ふ じ	中生種の滞荷の影響から、入荷量はかなり減少しました。平均単価は安く推移しました。	202	241	78%	80%
8		富有柿	基本的に今年度は不作年となり、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	67	411	61%	126%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上